

長野県内における感染症原因菌の分離状況を把握します

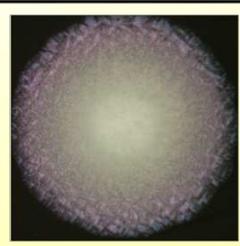
～レジオネラ属菌をはじめとする感染症原因菌の分子疫学的解析等に関する研究～



長野県内のレジオネラ属菌等の感染症原因菌について、分子疫学的解析を実施することで、県内の傾向を把握して健康被害の拡大防止につなげます。

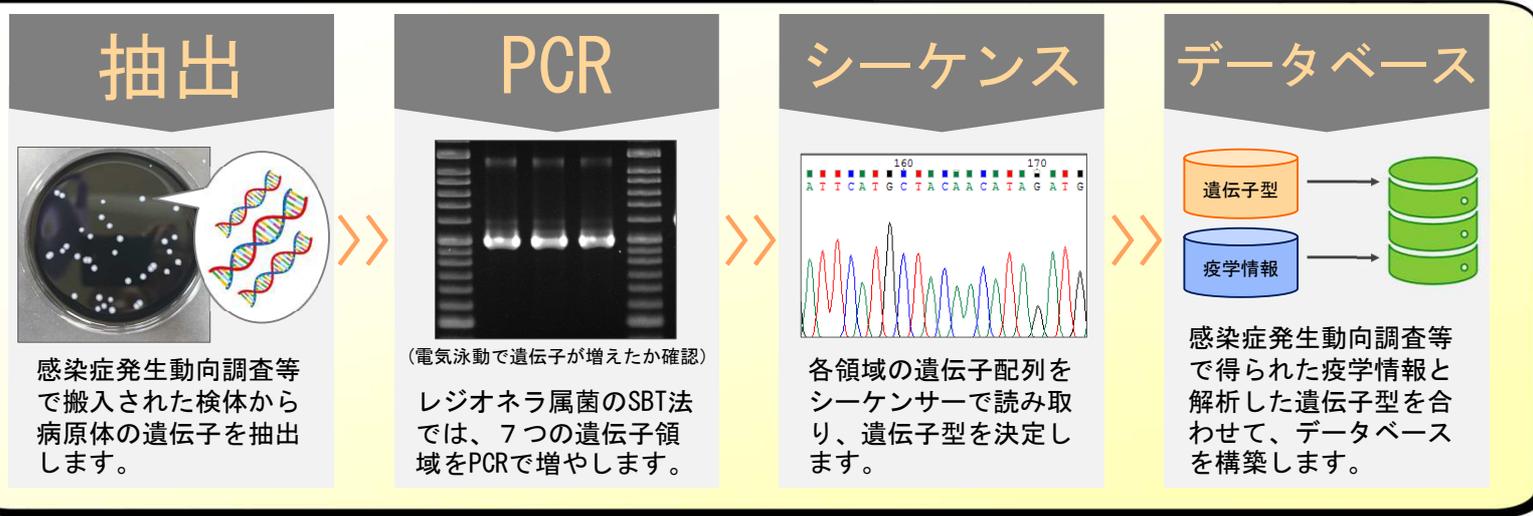
なぜ研究が必要なの？

- ◆ レジオネラ症は、レジオネラ属菌を含んだ水や土を吸い込むことで発症しますが、全国では入浴施設を原因とした集団発生が度々発生しています。
- ◆ 患者や患者が利用した入浴施設などからレジオネラ属菌が分離された場合は、その菌株の分子疫学的解析を行うことで、感染症経路推定につなげます。
- ◆ レジオネラ属菌の分子疫学的解析の方法として、世界的に普及しているSequence-based typing (SBT) 法を取り入れます。



Legionella pneumophila のコロニー外観（集落辺縁部がモザイク・カットグラス様）
国立感染症研究所ホームページより

どうやって把握するの？



今後の展望

長野県内のレジオネラ属菌の分離状況を把握し、危害拡大防止に寄与する

県内で分離されたレジオネラ属菌の遺伝子型と疫学情報を合わせたデータベースを構築し、県内の傾向を把握するとともに、今後の感染源推定に役立てます。



広域感染事例に対応可能な体制を整備

従来より実施していた方法では、他施設の解析結果との比較が困難でした。数値として解析結果が得られるシーケンサーを使用した分子疫学的解析方法を取り入れることで、広域感染事例に対応可能な状態にします。



SeqStudioジェネティックアナライザ
ThermoFisher Scientific
ホームページより